

(町政懇談会資料)



---

# 平成30年度予算の概要

(6月補正予算含む)

【まちの未来像】

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

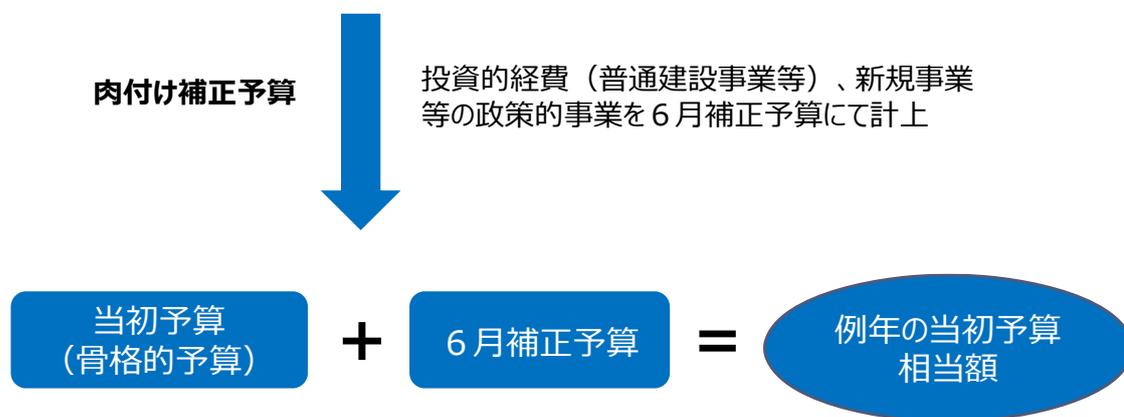
与謝野町

## <目 次 >

- 平成30年度予算について
- 予算規模（一般会計）
- 予算規模（特別会計・水道事業会計含む）
- 平成30年度主要事業
- 資料編
  - 町税の状況
  - 町債の状況
  - 基金の状況
  - 平成30年度一般会計性質別内訳
  - 普通建設事業の状況
  - 与謝野町の財政状況
  - 用語解説

# 平成30年度予算について

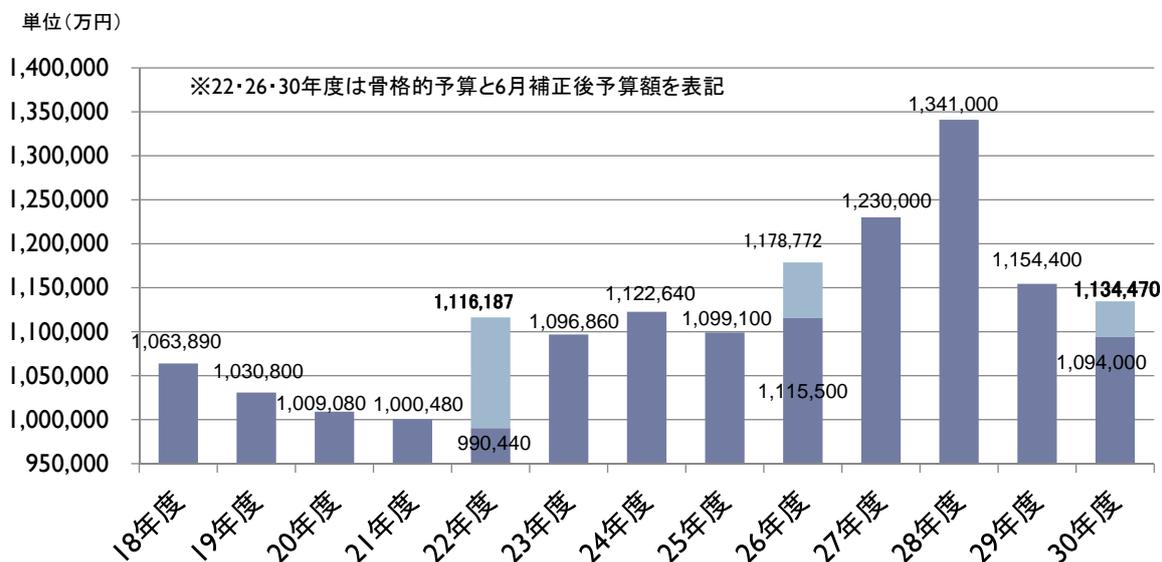
平成30年度当初予算は、同年4月に町長・町議会議員選挙の執行が予定されていたため、政策的経費や投資的経費を極力控えた「骨格的予算」として編成。



## 予算の規模（一般会計）

▶ **一般会計予算（当初+6月） 113億4,470万円**

・平成29年度当初予算比較 : 1億9,930万円減（▲1.7%）



# 予算規模（特別会計・水道事業会計含む）

一般会計・特別会計（8会計）・水道事業会計の

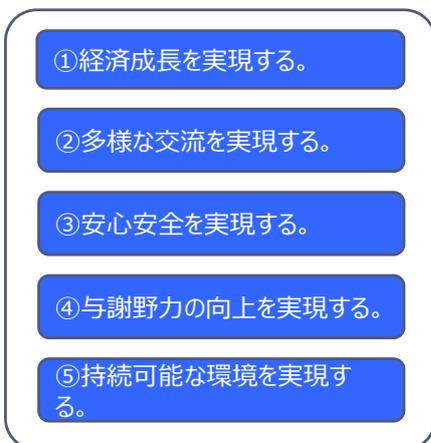
▶ **予算総額 200億6,983万円** 対前年度：▲1.4%（2億8,943万円減）

単位(万円)

会計別	30年度予算現計	29年度当初	増減率(%)
宅地造成事業特別会計	7,931	8,928	▲11.2
下水道特別会計	169,370	169,150	0.1
農業集落排水特別会計	4,190	4,100	2.2
介護保険特別会計	270,078	267,290	1.0
土地取得特別会計	40	41	▲3.1
国民健康保険特別会計	250,330	317,600	▲21.2
後期高齢者医療特別会計	27,950	27,960	0.0
財産区特別会計	8,520	9,480	▲10.1
水道事業会計	134,104	76,977	74.2
<b>特別会計・水道事業会計合計</b>	<b>872,513</b>	<b>881,526</b>	<b>▲1.0</b>

## 平成30年度主要事業

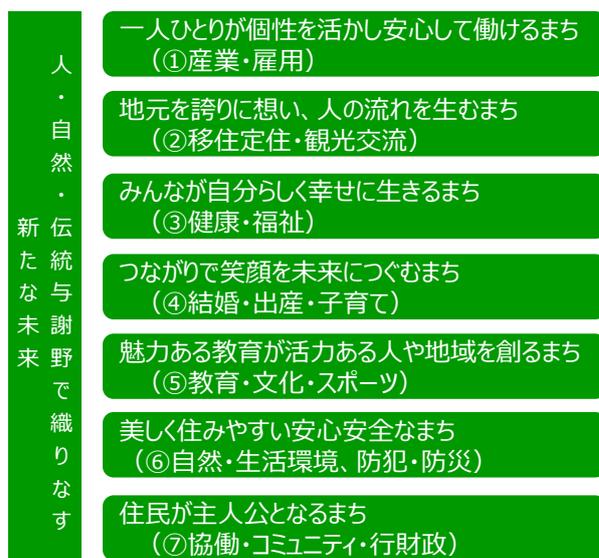
山添町政2期目に掲げた  
「5つの基本政策」



整合



「第2次総合計画の7つの分野別方針」



「5つの基本政策」は、第2次与謝野町総合計画に掲げる与謝野町が目指す未来像

「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」との整合を図り、まちづくりを推進します。

# 平成30年度主要事業

## ①経済成長を実現する

自然循環農業推進事業(①産業・雇用)		1,599万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>与謝野町が推進してきた自然循環農業を進化させるべく、肥料の品質改良、地域資材を活用した堆肥の開発等により、農産物の高付加価値化を図ります。</p> <p>また、与謝野町の主要農産物である“京の豆っこ米”、“白大豆”の生産振興・広報宣伝を展開。</p>		農林課
	1)京の豆っこ肥料の改良、より環境に配慮した新肥料の開発 ・地域資源を活用した堆肥の試験製造など	240	事業費 1,572万円の内 (国：1/2)
	2)肥料散布委託、特別栽培米補助金	391	
	3)京の豆っこ米販売促進 ・与謝野町の特色ある農業を紹介するポータルサイトの制作 ・京の豆っこ米販促事業支援など	535	
	4)白大豆生産振興及び作業受託補助金	333	
	5)新規需要作物の試験栽培 ・水稻新品種、トウガラシなど	100	

# 平成30年度主要事業

## ①経済成長を実現する

特色ある農業推進事業(①産業・雇用)		913万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>これまで取り組んできた自然循環農業に加え、ICT(情報技術通信)農業の取り組みや、従来の化学的評価に加え土壌健全性の観点から土づくりを評価するSOFIX(土壌肥沃度指標)認証による農産物のブランド展開、新規作物としての国産ホップの生産など、これら全体を「与謝野版農業モデル」とする産地・農産物の高付加価値化の取り組みを実施。</p>		農林課
	1)農業モデル確立事業補助金 ・農業者が行うSOFIX(土壌肥沃度指標)による土壌診断の支援 ・ホップ棚設置・交流体験事業等の支援	200 300	(国：1/2)
	2)地域おこし協力隊【29年度任用】 ホップの栽培・体験・販路拡大の支援を行うことで、農業産地としての「与謝野」の知名度を高める	413	

# 平成30年度主要事業

## ①経済成長を実現する

### シルクプロジェクト推進事業(①産業・雇用) 1,043万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>国外に依存している養蚕を「安心安全がみえる」産業構造構築に向け、今年度は本格的な試験養蚕の他、繭販売のモデルケース作成等を実施。</p> <p>1) 地域おこし協力隊(1名) ・与謝野シルクプロジェクトを実践したい方を募集し、育成を図る</p> <p>2) シルクプロジェクト事業 ・シルクプロジェクト事業費補助金(桑栽培・養蚕事業)</p>	393 650	商工振興課 (国:1/2)

### 丹後ちりめん創業300年関連事業(①産業・雇用) 211万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>2020年に迎える「丹後ちりめん創業300年」を丹後産地の「ものづくり産業文化」と「地域の魅力を広く発信する機会」ととらえ、京都府、関係市町及び丹後織物工業組合等との連携により、丹後ちりめんの地域ブランドの向上と未来に繋げるための人材育成を目指し、円滑な事業展開を図る。</p> <p>・丹後ちりめん創業300年事業実行委員会負担金</p>	211	商工振興課 (国:1/2)

# 平成30年度主要事業

## ①経済成長を実現する

### 織機調整等支援・生産基盤支援事業(①産業・雇用) 1,730万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>基幹産業である織物業及びその関連産業の振興と発展を図るため、今なお高い技術力を維持している織物業に係る織機等の維持補修などの経費負担に対する助成を行うことにより、生産機能の向上や底上げ、新たな商品開発の機運を高め、織物業界の生産低下や後継者不足への対応を図る。</p> <p>1) 織物織機調整等支援事業補助金 2) 織物業生産基盤支援事業費補助金</p>	230 1,500	商工振興課 } (国:1/2)

### 織物職人人材確保事業(①産業・雇用) 500万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
拡充	<p>従来から与謝野町商工会に委託している町織物技能訓練センターを活用した織物振興事業を拡充する。力織機の織物職人の養成プログラムに加え、手織り職人の養成プログラム、織物職人短期体験プログラムを新たに構築し、町内外に情報発信を行うことで、人材の発掘と職業訓練機会を創出し、業界の課題である担い手不足の解消をめざす。</p> <p>・織物職人養成プログラム企画運営委託料</p>	500	商工振興課 (国:1/2)

# 平成30年度主要事業

## ①経済成長を実現する

テキスタイル産地化支援事業（①産業・雇用）		1,500万円	
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	<p>基幹産業である織物業及びその関連産業の振興と発展を図るため、和装に加えて洋装・インテリア・生活雑貨等の新たな市場への進出を目指す「テキスタイル産地化」に取り組む織物事業者に対して、織機の広幅化の設備投資に対する助成を行うことにより、その取り組みの支援を図る。</p> <p>・テキスタイル産地化事業補助金（織物業生産設備広幅化支援）</p>	1,500	商工振興課 (国：1/2)
織物業担い手育成事業（①産業・雇用）		145万円	
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	<p>織物業の担い手を発掘・育成するとともに、情報発信により当町織物産業の認知度を高め、持続可能な織物産地を形成することを目的に、平成27年度から実施してきた「織物事業者後継者層対象の人財育成事業」を発展させ、実行委員会を設立。</p> <p>・職員旅費 ・ひらく織実行委員会負担金</p>	15 130	商工振興課 (国：1/2)

# 平成30年度主要事業

## ①経済成長を実現する

与謝野ブランド戦略事業（①産業・雇用）		332万円	
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	<p>与謝野ブランド戦略のコンセプト「みえるまち」（安心安全・個性・もてなしがみえる）に基づき、農商工連携による民間事業が創出される環境を構築するため、商工会・観光協会・金融機関・中小企業診断士で構成し公募事業等の審査を行う「与謝野ブランド戦略審査会」を継続運営するとともに、同事業の実施主体で設立される予定の「与謝野ブランド戦略推進事業者連絡協議会（仮称）」（事務局：与謝野町商工会）への運営補助を行う。</p> <p>また、町内外へ情報発信を行い、民間事業の創出、事業参入への意欲を喚起する。</p> <p>1)与謝野ブランド戦略事業審査会委員報償費等</p> <p>2)与謝野ブランド戦略推進事業者連絡協議会運営補助金</p> <p>3)与謝野ブランドサイトリニューアル委託料</p> <p>4)かべ新聞「うちのまち」制作、うちのまち講座講師謝礼等</p>	19 23 100 168	商工振興課 (国：1/2)

# 平成30年度主要事業

## ①経済成長を実現する

農商工連携・六次産業化推進事業(①産業・雇用)		1,300万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	町内農産物や農産加工品等の販路開拓等に係る経費や、起業・第二創業への支援として、阿蘇ベイエリアを中心に農産加工品等を販売する移動販売設備や宣伝・告知等の事業展開、提供商品の開発に係る経費に対する補助支援を新設し、町内事業者等の連携による六次産業化を図る。		商工振興課
	1)販路開拓等支援	300	} (国:1/2)
	2)移動販売支援 ・移動販売設備等整備(ハード整備事業) ・移動販売トライアル(ソフト事業)	1,000	

# 平成30年度主要事業

## ②多様な交流を実現する

アベリスツイス交流事業(⑤教育・文化・スポーツ)		378万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	アベリスツイス(英国・ウェールズ)とは、昭和59年から高校生相互派遣交流を民間団体を中心に実施しており、平成30年度は、与謝野町在住高校生のアベリスツイス派遣を実施。 また、アベリスツイス大学との産学連携・文化交流を実施予定。	378	観光交流課
	1)アベリスツイス高校生相互派遣交流(派遣)		
	2)アベリスツイス大学サマースクール留学 ・大学が企画する夏休み期間中の英語研修プログラムへの参加者を募集。		
	3)アベリスツイス大学生の受入れ(予定) ホストファミリー、保育園児・小中高等学校生徒や各種団体との交流、企業訪問、日本文化の体験等を通じて国際理解を深める。		

# 平成30年度主要事業

## ②多様な交流を実現する

お試し移住体験事業（ ②移住定住・観光交流 ）		400万円	
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続 拡充	<p>仕事と暮らしを体験できる短期滞在型移住プログラム（よさのワーキングステイトリアル）を実施する他、与謝野町への移住・定住者の増加を目的に地域や各種団体が主体となり取り組まれる事業に対し支援する、「地域力活用実践型移住定住対策事業補助金」を新設。</p> <p>1) 短期滞在型移住プログラム（よさのワーキングステイトリアル） 2) 地域力活用実践型移住定住対策事業補助金</p>	200 200	観光交流課  (国：1/2)
美心与謝野魅力発信事業（ ②移住定住・観光交流 ）		400万円	
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	<p>平成29年度事業で「海の京都滞在コンテンツ造成事業（滝・ツバキエリア、ちりめん街道エリア、温江・山の家エリア）」を実施してきたが、その商品のブラッシュアップや地域資源を生かした新たな体験商品の開発及びプロモーション事業を展開し、更なる滞在交流を推進することにより、本町が有する地域資源を活用した滞在交流型の観光地域づくりを加速させ、観光客の誘致を図り、観光振興による人的交流の促進並びに観光消費額を押し上げ、地域経済の活性化を図る。</p> <p>・観光地域づくり組織支援事業補助金</p>	400	観光交流課  (国：1/2)

# 平成30年度主要事業

## ②多様な交流を実現する

海の京都DMO支援事業（ ②移住定住・観光交流 ）		2,645万円	
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	<p>■海の京都DMO与謝野地域本部事業</p> <p>町の観光推進事業の根幹を担う与謝野町観光協会の組織強化を図り、事務・事業執行の体制強化及びまちづくり観光を基軸とした「観光地域づくり」「体験プログラムづくり」を中心に、海の京都エリアにおける与謝野町独自の滞在型交流の仕組みを構築し、海の京都DMO本部及び各地域本部との連携をもとに、観光客の誘致を図り、観光振興による人的交流の促進並びに観光消費額を押し上げ、地域経済の活性化を図る。</p> <p>・与謝野町観光協会補助金</p> <p>■海の京都広域連携事業</p> <p>5市2町の観光協会を統合した観光商社機能を有した「一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（通称：海の京都DMO）」が行う市場調査や体験プログラムの造成、国内外でのプロモーションなど、海の京都事業も年々進展している中、地域住民や観光事業者との連携構築を図る。</p> <p>・海の京都DMO広域観光推進事業費負担金</p>	2,118  527	観光交流課    (国：1/2)

# 平成30年度主要事業

## ②多様な交流を実現する

旧加悦町役場整備事業( ②移住定住・観光交流 )		1,816万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>■旧加悦町役場庁舎耐震改修調査</p> <p>旧加悦町役場庁舎は、平成27年3月に実施した予備調査で、構造的、耐震的な問題、また腐朽、蟻害などの劣化も見られている。            このような状況を踏まえ、官学連携による地盤調査、構造詳細調査、耐久性調査を実施して、構造安全性、耐震安全性、防・耐火における問題を明確にするとともに、京都府指定有形文化財であることを念頭に歴史調査を行い、旧加悦町役場庁舎の文化財的・意匠的価値を損なわない構造改修・補強や耐震補強の方針を策定する。この方針に基づき、構造補強設計、耐震補強設計、防・耐火対策を検討し、構造・耐震補強、改修案（基本設計）の提案をいただき実施設計に結び付ける。</p> <p>■旧加悦町役場調査耐震改修工事（実施設計費）</p> <p>旧加悦町役場庁舎は昭和4年に建築され、現在の耐震基準に合致しておらず、施設の利活用に制限があることに加え、来る2020年の「丹後ちりめん生誕300周年」及び「加悦奥川改修完了」に向け、本施設の耐震化工事を実施し、地域の拠点施設として利活用を図る。</p> <p>改修工事：平成31年度着工予定</p>	989	観光交流課
		827	

# 平成30年度主要事業

## ③安心安全を実現する

喀痰吸引等研修事業( ③健康・福祉 )		24万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>町内福祉事業所に勤務する介護職員が看護師に代わって痰の吸引等の医療的処置が行えるよう研修に参加した場合の研修費用の助成（1/2）を実施。            ・12万円×1/2×4人</p>	24	福祉課

介護福祉士資格取得研修事業( ③健康・福祉 )		100万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>町内福祉事業所に勤務する職員の資質向上と町内福祉施設への定着を目的に、本町に事業所を有する事業者が、その所属する職員に対し介護福祉士の資格取得に係る研修に対して補助した場合に、一定の条件下に補助する。</p> <p>介護福祉士資格取得に係る研修費用のうち、補助事業者が受講者に対して補助した額（受講予定者が有する資格ごとに2万5千円～5万円の限度額を設定）を補助する。</p> <p>・補助上限額 5万円×20人</p>	100	福祉課

## 平成30年度主要事業 ③安心安全を実現する

### 地域医療確保奨学金貸付事業( ③健康・福祉 )

1,014万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>与謝野町内にある医療法に規定する公的医療機関において医師として将来従事しようとする医学生、臨床(専門)研修医等を対象に、奨学金制度を1市2町連携事業で実施。</p> <p>【月額15万円～20万円を上限とし貸与(返還免除規定有り)】</p> <p>京都市立医科大学附属北部医療センターにおいて、将来「助産師または看護師」として勤務希望する看護学生を対象に、奨学金制度を1市2町連携事業で実施。</p> <p>【年額100万円を上限とし貸与(返還免除規定有り)】</p>	1,014	保健課

## 平成30年度主要事業 ③安心安全を実現する

### クアハウス岩滝整備事業( ③健康・福祉 )

2,181万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>「天の橋立岩滝温泉活用等調査委員会」からの答申内容や「クアハウス岩滝の施設運営の存続を求める」請願書採択を受け、クアハウス岩滝の存続を平成29年度に決定。</p> <p>施設の老朽化対策の他に、健康増進施設としての機能を充実し利用者の増加を図る改修工事を実施するため、実施設計を行う。</p> <p>・改修工事実施設計費</p> <p>※改修工事は平成31年度秋ごろから実施予定</p>	2,181	観光交流課

# 平成30年度主要事業

## ③安心安全を実現する

### ■介護保険特別会計

地域サロン開設事業(③健康・福祉)		55万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	地域の空き家等を利用して高齢者サロン等を運営するボランティア(団体)やNPO法人等に対して、家賃、光熱水費等の経費に対して助成する。	55	福祉課

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)家賃等助成金制度(③健康・福祉)		675万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	同じ入所型施設でありながら特別養護老人ホームに比べて利用者負担が高くなっていく認知症対応型生活介護施設(グループホーム)に家賃、食費に対して助成する。	675	福祉課

# 平成30年度主要事業

## ③安心安全を実現する

生活困窮家庭学習支援事業(④結婚・出産・子育て)		20万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	生活困窮者自立支援法施行(平成27年度)により、生活保護受給に至る前の段階の自立支援策の強化を図ることとなり、その中でも、子どもの貧困対策・貧困の連鎖を断つことに重点を置き、京都府との連携により学習支援・生活支援を実施する。 ・週2時間程度、NPO法人「宮津・与謝子育て・教育ネットワーク」に委託し、訪問型事業として実施。	20	福祉課

障害者相談支援等事業(障害児相談支援)(④結婚・出産・子育て)		300万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
拡充	障害があり様々な不安を持つ家庭に対して、専門的知識を有した相談員がその不安に寄り添い、適切できめ細やかな支援を行う。 ・相談支援の実績がある発達支援事業所に委託。 ・障害児等に対する障害理解・受容や対応へのアドバイス、適切な相談先・支援へのつなぎ等を実施。	300	子育て応援課

## 平成30年度主要事業 ③安心・安全を実現する

### 子育て世代包括支援センター事業（④結婚・出産・子育て） 236万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	<p>妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援政策として、産後うつ予防や新生児への虐待予防を図るため産婦検診、産後ケア事業に取り組み産後の初期段階における母子に対する支援の強化を実施するほか、新生児難聴が早期発見できるよう新生児聴覚検査費用の助成を実施する。</p> <p>1) 産婦検診・産後ケア事業 2) 新生児聴覚検査費用助成事業</p>	206 30	子育て応援課  (国：1/2)

### 認定こども園整備事業（④結婚・出産・子育て） 5,332万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	<p>誰もが就学前の教育・保育を受けることができる環境づくりを推進するため、町内を3地域に区分し、各地域に1箇所ずつ幼保連携型認定こども園を設置する計画に基づき、加悦地域について次の事業を実施する。</p> <p>1) 「加悦地域こども園(仮称)」の新園舎の新設に向けた基本設計・実施設計 2) 認定こども園整備スケジュール ・31年度工事着工、32年度末完成、33年度開園（予定）</p>	5,300	子育て応援課

## 平成30年度主要事業 ③安心・安全を実現する

### 河川改修事業（⑥自然・生活環境、防犯・防災） 1億270万円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>継続的に進めている浸水対策事業として、鞭谷川（石川地区）のバイパス水路整備の他、ソブ川（三河内地区）、明石川（明石地区）改修工事等を実施。</p>	10,270	建設課

## 平成30年度主要事業

### ④与謝野力の向上を実現する

よさのみらい大学事業( ⑦協働・コミュニティ・行財政 )		700万円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>「与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人材の育成」を創出する「人材」育成の場として、平成29年7月より「ヨサノ大学事業」、「リベラルアーツ事業」、「与謝野ブランド戦略インキュベーション事業」を統合し、「よさのみらい大学」として開校。</p> <p>平成30年度は、他事業との連携を図るとともに平成29年度事業を踏襲し、「リベラルアーツコース」、「地域づくり学部」、「与謝野ブランド戦略ビジネス学部」の、それぞれのコース・学部から具体的な成果へとつながる多種多様な講座を開催。</p>	700	企画財政課 商工振興課 観光交流課 社会教育課  (国：1/2)
平成29年度	<pre> graph TD     A[よさのみらい大学事業] --&gt; B[リベラルアーツ]     A --&gt; C[地域づくり学部]     A --&gt; D[与謝野ブランド戦略 ビジネス学部]             </pre>		
平成30年度	<pre> graph TD     B[リベラルアーツ 人々が交流し学ぶ場]     C[地域づくり学部 地域を牽引する 人材]     D[与謝野ブランド戦略 ビジネス学部 創業(商い)する 人材]             </pre>		

## 平成30年度主要事業

### ④与謝野力の向上を実現する

青少年育成事業(イングリッシュキャンプ) ( ⑤教育・文化・スポーツ )		40万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	<p>町内の小学生に英語でコミュニケーションを取ることの楽しさを知ってもらうことで、多様性を理解するための土壌を育む事業を実施。</p> <p>・小学6年生を対象に、1泊2日で、英会話を交えたグループ活動を実施。</p>	40	社会教育課
高校魅力化推進事業( ⑤教育・文化・スポーツ )		327万円	
区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
拡充	<p>町内唯一の高校であり、町の最高学府である加悦谷高校が、魅力的で地域に選ばれた学校となるために、町と高校との連携・協働をより一層推進し、将来の与謝野町を担う人づくりに資する。</p> <p>・魅力化コーディネーターの常駐配置(地域学習・グローバル学習の推進・積極的な魅力発信・将来ビジョンの策定)</p> <p>・小高・中高交流の実施</p>	327	社会教育課

## 平成30年度主要事業

### ④与謝野力の向上を実現する

放課後学習支援事業（⑤教育・文化・スポーツ）		56万円	
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	<p>さまざまな理由により家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についていない児童への学習支援として、長期休業（夏休み等）中を除き、放課後に週1回1時間程度の補習を担当と本事業講師により実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内全小学校で実施</li> <li>・学習の遅れを取り戻すと共に自立学習の習慣化を促進</li> </ul>	56	社会教育課  (府：2/3)

## 平成30年度主要事業

### ⑤持続可能な環境を実現する

生ごみ処理容器設置事業費補助金 (⑥自然・生活環境、防犯・防災)		20万円	
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	<p>電気式生ごみ処理容器の補助限度額を1万円から1万5千円に引き上げるなど、平成28年度を「ごみ減量化取組強化期間」として、ごみの減量化を推進してきたが、平成30年度も引き続き、1万5千円の補助限度額を継続することで、電気式生ごみ処理容器の普及を図ると共にごみの減量化の推進も継続。</p>	20	住民環境課

「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来へつなぐ条例」 阿蘇海の日（⑥自然・生活環境、防犯・防災）		173万円	
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	<p>本町と宮津市及び京都府と協議の上、平成28年度に「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来へつなぐ条例」を制定。</p> <p>平成29年度以降は、この条例制定の趣旨等に鑑み、「阿蘇海の日（平成30年度は7月14日）」に本町と宮津市との共同で環境浄化等の啓発事業の取り組みを実施。</p>	173	住民環境課 (その他：170)

# 平成30年度主要事業

与謝野町が目指す未来像

「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」

## ■分野別の事業費一覧

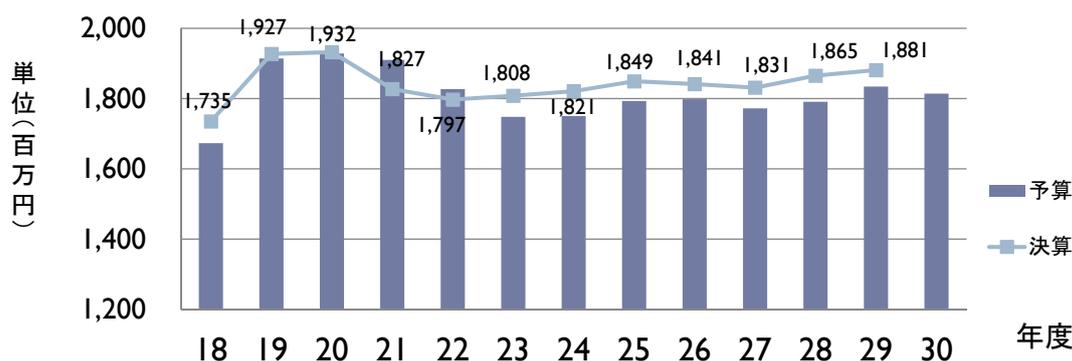
分野	事業費
分野1：一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち（①産業・雇用）	7,973万円
分野2：地元を誇りに想い、人の流れを生むまち（②移住定住・観光交流）	5,261万円
分野3：みんなが自分らしく幸せに生きるまち（③健康・福祉）	4,049万円
分野4：つながりで笑顔を未来につぐむまち（④結婚・出産・子育て）	5,888万円
分野5：魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち（⑤教育・文化・スポーツ）	801万円
分野6：美しく住みやすい安心安全なまち（⑥自然・生活環境、防犯・防災）	1億463万円
分野7：住民が主人公となるまち（⑦協働・コミュニティ・行財政）	700万円

## 資料編

### <町税の状況>

町税総額 18億1,421万円 対前年度:1,961万円減(▲1.1%)

税目	30年度予算	29年度予算	増減率 (%)
町民税	8億2,907万円	8億1,423万円	1.8
固定資産税	7億9,247万円	8億793万円	▲1.9
軽自動車税	7,267万円	7,065万円	2.9
町たばこ税	1億2,000万円	1億4,100万円	▲14.9
都市計画税	0	1万円	-
合計	18億1,421万円	18億3,382万円	▲1.1



## 資料編

### <町税の状況（前年度比較）>

#### ■町民税

町民税内訳		30年度予算	29年度予算	増減率(%)
個人	所得割	7億500万円	6億9,100万円	2.0
	均等割	3,490万円	3,500万円	▲0.3
	滞納繰越分	810万円	1,100万円	▲26.4
法人	法人税割	3,400万円	3,100万円	9.7
	法人均等割	4,650万円	4,570万円	1.8
	滞納繰越分	57万円	53万円	7.5
合計		8億2,907万円	8億1,423万円	1.8

#### ■固定資産税

固定資産税内訳		30年度予算	29年度予算	増減率(%)
土地		2億7,677万円	2億8,046万円	▲1.3
家屋		3億8,335千円	3億9,440万円	▲2.8
償却資産		1億1,041万円	1億981万円	0.5
滞納繰越分		831万円	963万円	▲13.7
固有資産等所在市町村交付金		1,363万円	1,363万円	0.0
合計		7億9,247万円	8億793万円	▲1.9

## 資料編

### <町債の状況（一般会計）>

▶ **平成30年度末町債現在高見込み 141億1,477万円**

対前年度:2億8,521万円減(▲2.0%)



# 資料編

## <基金の状況（財政調整基金・減債基金）>



平成30年度末基金現在高見込み（平成30年度6月補正後）

財政調整基金：13億2,341万円（前年度比較：5億742万円減（▲27.7%））

減債基金：4億9,077万円（前年度末比較：38万円増（0.1%））

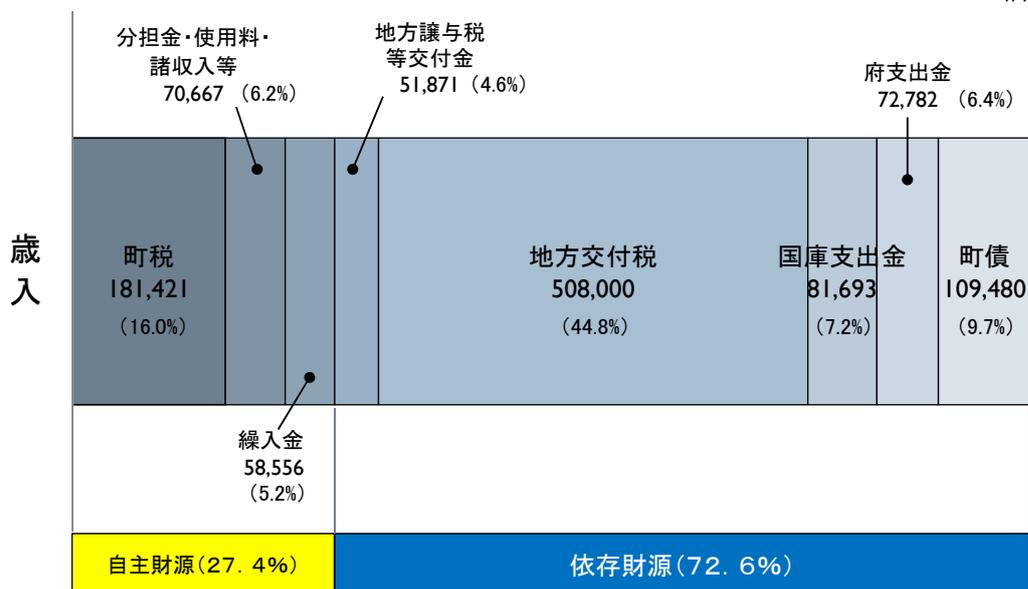


# 資料編

## <平成30年度一般会計性質別内訳>

歳入総額：113億4,470万円

( )内は構成比率



※端数整理のため表内計等が一致しない場合があります。

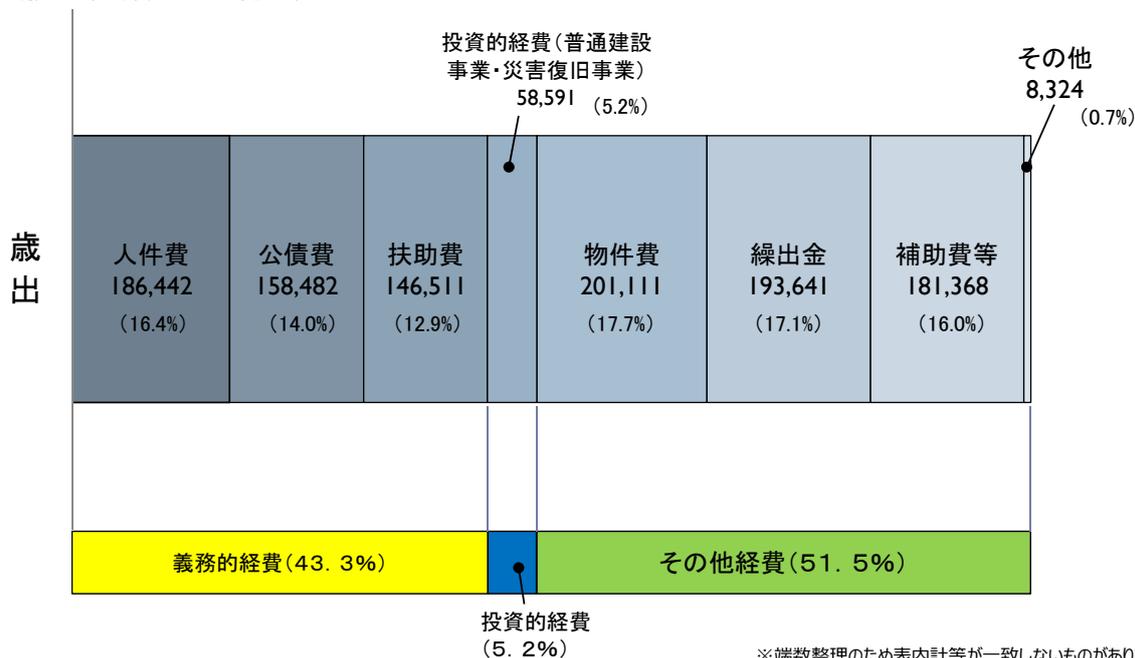


# 資料編

## <平成30年度一般会計性質別内訳>

歳出総額: 113億4,470万円

( )内は構成比率



※端数整理のため表内計等が一致しないものがあります。

# 資料編

## <普通建設事業の状況(一般会計)>

▶ **平成30年度普通建設事業見込み 5億8,192万円**

・ 29年度当初予算比較 : 1,667万円増(2.9%)

【平成30年度実施予定の主な普通建設事業】

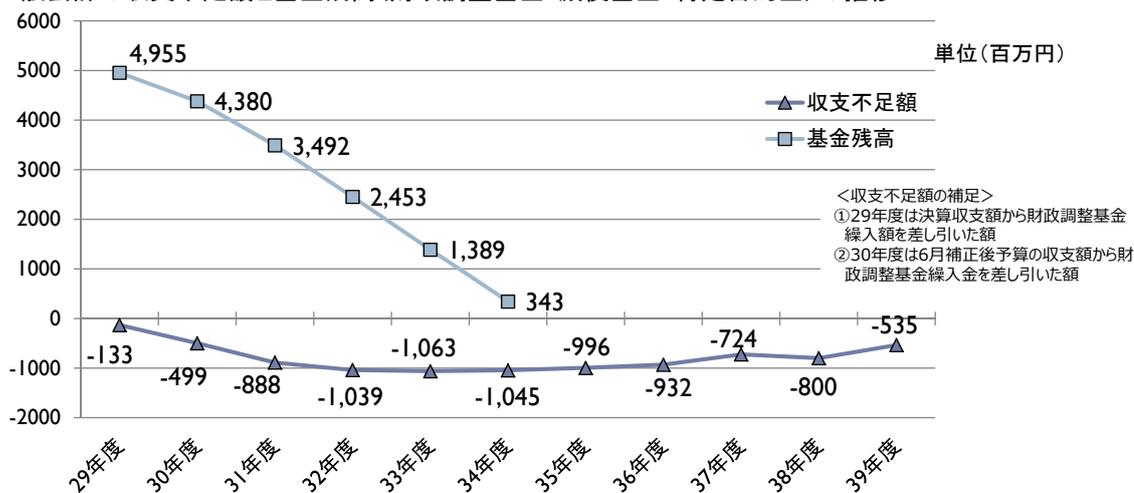
単位: 万円

事業名	普通建設事業費	主な内容	担当課
認定こども園施設整備事業	5,363	加悦認定こども園(仮称)設計委託料等	子育て応援課
農業用施設整備事業	3,690	岩屋ほ場整備事業(換地業務委託料、測量委託料、ほ場整備工事)、基幹的取水施設等改修工事	農林課
旧加悦町役場整備事業	827	旧加悦町役場庁舎耐震改修工事に係る実施設計委託料	観光交流課
クアハウス岩滝整備事業	2,181	クアハウス岩滝改修工事に係る実施設計委託料	観光交流課
道路維持管理事業	6,235	大浜線(男山)の舗装修繕工事や、町内各所の老朽化した橋りょうの補修工事などの長寿命化工事	建設課
道路新設改良事業	19,740	川向玉ノ木線(石川)や田尻線(加悦奥)の擁壁・舗装工事を実施するほか、山手線交差点改良(弓木)や野田川本線等の通学路整備	建設課
河川改良事業	9,700	継続的に進めている浸水対策事業として、鞭谷川(石川)のバイパス水路整備の他、ソブ川(三河内)、明石川(明石)改修工事等を実施	建設課
町営住宅維持管理事業	22,650	小井根団地の長寿命化工事の他、三合池団地の外壁補修工事、安良団地の火災報知器交換工事	建設課

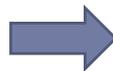
# 資料編

## <与謝野町の財政状況>

■一般会計の収支不足額と基金残高(財政調整基金・減債基金・特定目的金)の推移



上記のグラフは、一般会計の29年度決算、30年度6月補正後予算、31年度以降は今後の財政見通し額から算出した収支不足額と基金残高の推移を示したグラフです。  
この収支不足額を、仮に基金を取崩して補填し、決算時点で基金に全額返せなかったものとして作成。



現状の行政サービスを見直しせずに行けば、34年度には基金が全て枯渇してしまいます。そのため公共施設等総合管理計画による施設の統合・集約化や公共料金の適正化、事務事業の見直し等行財政改革に取り組みます。

# 資料編

## <用語解説>

- 一般会計 収めていただいた町税や国から配分される地方交付税などによって、教育や子育て支援、高齢者福祉、ごみの収集・処分などといった行政運営の基本的な経費が計上される会計区分。
- 特別会計 特定の収入によって一般会計と切り離して事業を行う会計の区分。与謝野町では、宅地造成事業、下水道、農業集落排水、介護保険、土地取得、国民健康保険、後期高齢者医療、財産区の8つが特別会計。
- 町 税 町民税、固定資産税、軽自動車税など。
- 地方交付税 自治体間の財源の不均衡を調整するもので、税収の少ない団体にも財源を保証し、一定の行政サービスを提供できるように国が自治体に交付するもの。
- 国庫支出金・府支出金 国や府が町へ委託する場合や、町が行う事業に対して一定の割合で、国や府が補助する場合に交付されるお金。
- 町債 事業を行うために借り入れたお金（いわゆる町の借金）。
- 公債費 借り入れたお金の返済経費。
- 扶助費 社会保障の一環として、障害のある人、子ども、高齢者などに対する様々な支援に要する経費。
- 物件費 消耗品費や光熱水費、出張などの旅費、外部委託経費、賃借料などの経費。
- 普通建設事業 道路・学校・公園などの公共施設の建設費や用地取得費等の経費。